



発展会計 月次レポート

平成23年3月度

御社の経営状況と財産状態をまとめ、現状を理解していただくための資料です。各種の経営数値より経営上の特性や課題を浮き彫りにし、経営判断をサポートする資料です。



日本ビズアップ㈱

月次経営分析体系

- 01 経営実数分析
- 02 損益分岐点分析
- 03 経営比率分析
- (1)業績関連分析
 - ①総括
 - ②月次増益推移(要約変動増益)
 - ③月別売上高3期比較(月別売上実績)
 - ④月別粗付加価値3期比較
 - ⑤月別人件費3期比較
 - ⑥月別その他固定費3期比較
 - ⑦移動年計

(2)資金関連分析
 - ①総括
 - ②比較貸借対照表分析(期首比較)
 - ③累計キャッシュフロー分析
- (1)総括

(2)経営安全率分析
 - ①増益分岐点売上高
 - ②増益分岐点比率
 - ③経営安全率
 - ④経営余裕売上高

(3)目標利益別必要売上
 - ①目標利益獲得のための必要売上算出方法
 - ②目標利益獲得のための必要売上シミュレーション
- (1)総括

(2)収益性分析
 - ①総資本経常利益率
 - ②売上総利益率
 - ③売上高営業利益率
 - ④売上高経常利益率
 - ⑤総資本回転率

(3)生産性分析
 - ①限界利益率
 - ②1人当たり売上高
 - ③1人当たり限界利益
 - ④1人当たり人件費
 - ⑤労働分配率

(4)安全性分析
 - ①流動比率
 - ②当座比率
 - ③固定比率
 - ④固定長期適合率
 - ⑤自己資本比率

月次コメント

今月の特記事項

資金に関するコメント

損益特性に関するコメント

納税に関するコメント

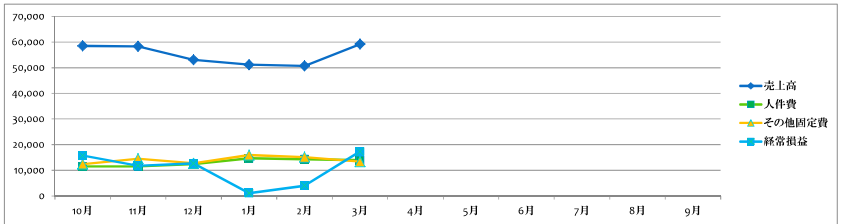
資金総括表				
	現預金	借入金		差 引
		長 期	短 期	
期 首	255,492	0	0	255,492
当 月	245,644	0	0	245,644
増減額	-9,848	0	0	-9,848

今期は前期と比較すると 増 収 増 益 です。

- ①売上高は、52,433千円 増加しています。
- ②変動費は、263千円 増加しています。
- ③限界利益は、52,170千円 増加しています。
- ④固定費は、780千円 減少しています。
- 人件費は、1,266千円 減少しています。
- その他固定費は、486千円 増加しています。
- ⑤営業利益は、43,049千円 増加しています。
- ⑥営業外収入は、623千円 減少しています。
- ⑦営業外費用は、137千円 減少しています。
- ⑧経常利益は、42,563千円 増加しています。

※その他固定費＝人件費以外の固定費-営業外損益

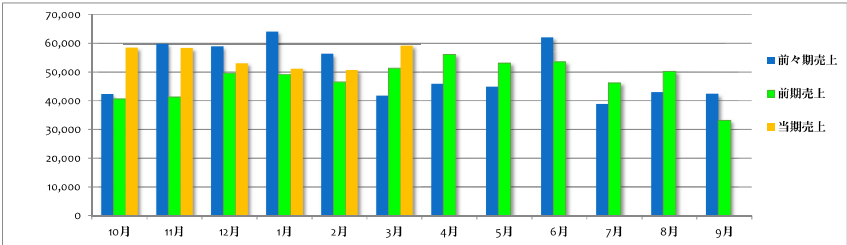
平成23年3月



		(単位:千円)													
項目名	前々期 月平均	前 期平均	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
			10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
売上高	50,060	47,588	58,508	58,350	53,077	51,155	50,692	59,218							331,001
変動費	16,608	17,517	18,696	20,445	15,352	19,353	17,139	14,343							105,328
限界利益	33,452	30,072	39,812	37,905	37,725	31,802	33,554	44,875							225,673
(限界利益率)	66.8%	63.2%	68.0%	65.0%	71.1%	62.2%	66.2%	75.8%							68.2%
人件費	13,348	12,428	11,540	11,508	12,392	14,682	14,324	13,951							78,397
その他固定費	13,515	12,729	12,544	14,652	12,659	16,044	15,222	13,566							84,687
営業損益	6,589	4,915	15,852	11,873	12,616	1,164	4,079	17,556							63,140
営業外損益	-190	189	-124	-127	59	-88	-72	-198							-551
経常損益	6,399	5,105	15,728	11,745	12,674	1,076	4,007	17,357							62,589

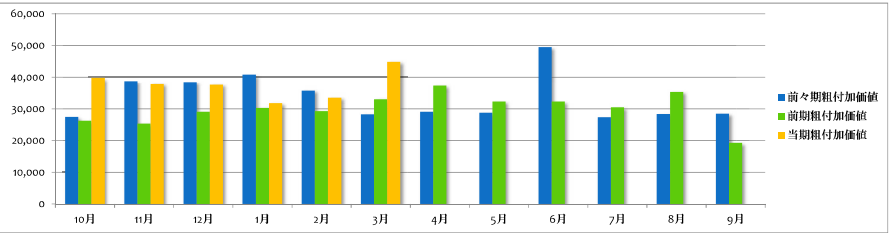
※その他固定費に営業外損益が含まれていますので、「限界利益-人件費-その他固定費」の値は営業損益と一致しません。

平成23年3月



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
当期売上	58,508	58,350	53,077	51,155	50,692	59,218						
前期売上	40,632	41,323	49,589	49,161	46,535	51,335	56,088	53,138	53,580	46,232	50,238	33,217
前期対比	144.0%	141.2%	107.0%	104.1%	108.9%	115.4%						
前々期売上	42,387	59,845	58,975	64,029	56,384	41,796	45,859	44,909	62,080	38,869	43,066	42,525
前々期対比	138.0%	97.5%	90.0%	79.9%	89.9%	141.7%						

平成23年3月



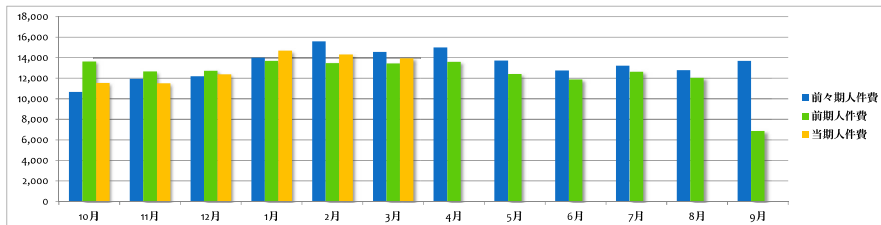
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
当期粗付加価値	39,812	37,905	37,725	31,802	33,554	44,875						
前期粗付加価値	26,284	25,403	29,125	30,296	29,296	33,098	37,390	32,404	32,335	30,501	35,416	19,313
前期対比	151.5%	149.2%	129.5%	105.0%	114.5%	135.6%						
前々期粗付加価値	27,505	38,717	38,447	40,841	35,762	28,297	29,134	28,860	49,496	27,403	28,418	28,545
前々期対比	144.7%	97.9%	98.1%	77.9%	93.8%	158.6%						

経営実績分析 (1) 業績関連分析 BizUP 免職会計 月次レポート

01 ⑤月別人件費 3期比較

提供 日本ビズアップ様

平成23年3月



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
当期人件費	11,540	11,508	12,392	14,682	14,324	13,951						
前期人件費	13,642	12,656	12,730	13,694	13,487	13,455	13,594	12,416	11,897	12,633	12,050	6,879
前期対比	84.6%	90.9%	97.3%	107.2%	106.2%	103.7%						
前々期人件費	10,659	11,961	12,184	14,000	15,598	14,572	15,025	13,719	12,759	13,232	12,781	13,691
前々期対比	108.3%	96.2%	101.7%	104.9%	91.8%	95.7%						

(単位:千円)

5

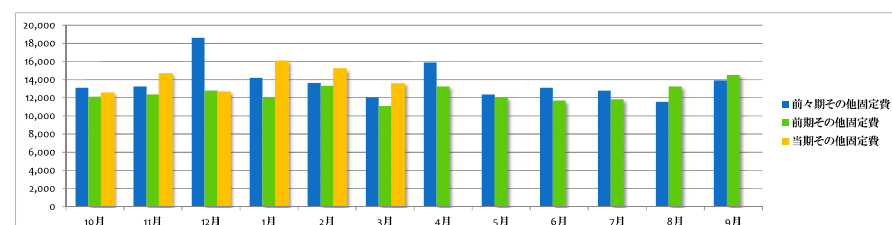
沙留商事

経営実績分析 (1) 業績関連分析 BizUP 免職会計 月次レポート

01 ⑥月別その他固定費 3期比較

提供 日本ビズアップ様

平成23年3月



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
当期その他固定費	12,544	14,652	12,659	16,044	15,222	13,596						
前期その他固定費	12,140	12,373	12,807	12,070	13,327	11,097	13,264	12,077	11,714	11,847	13,242	14,517
前期対比	103.3%	118.4%	98.8%	132.9%	114.2%	122.3%						
前々期その他固定費	13,119	13,260	18,598	14,201	13,639	12,060	15,885	12,368	13,104	12,776	11,555	13,896
前々期対比	95.6%	110.5%	68.1%	113.0%	111.6%	112.5%						

(単位:千円)

6

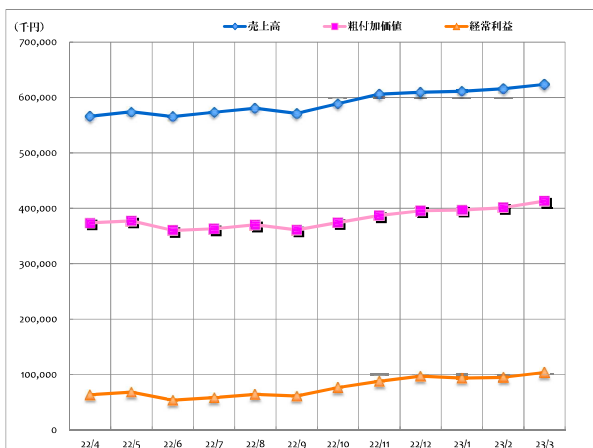
沙留商事

経営実績分析 (1) 業績関連分析 BizUP 免職会計 月次レポート

01 ⑦移動年計(売上高/粗付加価値/限界利益)

提供 日本ビズアップ様

平成23年3月



(単位:千円)

	売上高	粗付加価値	経常利益
22/4	566,106	373,614	63,401
22/5	574,334	377,158	68,539
22/6	565,835	359,967	53,627
22/7	573,198	363,065	58,253
22/8	580,369	370,094	64,296
22/9	571,061	360,862	61,255
22/10	588,938	374,390	76,480
22/11	605,965	386,892	87,851
22/12	609,459	395,492	96,937
23/1	611,453	396,968	93,482
23/2	615,611	401,256	95,007
23/3	623,494	413,032	103,818

注: 年計表は一年間の推移を表し、移動年計することによって、季節変動を消して、傾向を把握することが出来ます。

7

沙留商事

経営実績分析 (2) 資金関連分析 BizUP 免職会計 月次レポート

01

提供 日本ビズアップ様

当月までの利益額は **62,589千円** です。

①総資産は、	105,604千円	増加しています。	④流動負債は、	13,095千円	増加しています。
②流動資産は、	108,134千円	増加しています。	買掛債務は、	28,162千円	増加しています。
売掛債権は、	113,794千円	増加しています。	短期借入金は、	千円	変動ありません。
在庫は、	千円	変動ありません。	⑤固定負債は、	44,169千円	増加しています。
③固定資産は、	2,530千円	減少しています。	⑥負債合計は、	57,264千円	増加しています。
有形固定資産は、	1,056千円	減少しています。			
投資その他の資産は、	1,883千円	減少しています。			

8

沙留商事

（単位：千円）				
項目	当期実績 (A)	期首実績 (B)	財産の増加	財産の減少
【現金／預金】	245,644	255,492		9,849
【売上債権】	291,186	177,392	113,794	
【棚卸資産】	188	188		
【他流動資産】	48,604	44,415	4,188	
【流動資産】	585,622	477,488	108,134	
【有形固定資産】	238	1,294		1,056
【無形固定資産】	72,187	71,778	409	
【投資その他の資産】	42,954	44,837		1,883
【固定資産】	115,379	117,909		2,530
【繰延資産Ⅰ】	200	200		
【資産の部】	701,201	595,597	105,604	
【仕入債務】	74,621	46,459	28,162	
【他流動負債】	51,162	66,229		15,067
【流動負債】	125,783	112,687	13,095	
【固定負債】	76,008	31,839	44,169	
【負債の部】	201,791	144,526	57,264	
【資本金】	285,935	285,935		
【資本準備金】	80,000	80,000		
【資本剰余金】	80,000	80,000		
【利益準備金】	-1,000	-1,000		
【その他利益剰余金】	134,475	86,135	48,340	
【利益剰余金】	133,475	85,135	48,340	
【株主資本】	499,410	451,070	48,340	
【純資産の部】	499,410	451,070	48,340	
【負債・純資産の部】	701,201	595,597	105,604	

（単位：千円）		平成23年3月	
Ⅰ 営業活動によるキャッシュフロー		Ⅱ 投資活動によるキャッシュフロー	
	累計		累計
税引前当期純利益	62,589	有価証券の増加（減少）額	0
減価償却費	1,056	有形固定資産の増加（減少）額	-409
貸倒引当金の増加額	0	投資その他の資産の増加（減少）額	0
退職給付引当金の増加額	0	貸付金の増加（減少）額	1,735
受取利息配当金	-160	その他投資活動による増減額	0
支払利息	766	投資キャッシュフロー	1,326
売上債権増加（減少）額	-113,794	将来の利益獲得や資金運用のために支出または回収した資金を示します。	
棚卸資産増加（減少）額	0	Ⅲ 財務活動によるキャッシュフロー	
仕入債務増加（減少）額	28,162		累計
その他流動資産増加（減少）額	3,461	短期借入金の増加（減少）額	-20,400
その他流動負債増加（減少）額	-5,518	長期借入金の増加（減少）額	44,169
割引手形の増加（減少）額	0	株式の発行による収入	0
その他増減額	3,932	配当金の支払額	0
小計	-19,506	その他の財務活動による増減額	-14,249
利息及び配当金の受取額	160	財務キャッシュフロー	9,520
利息の支払額	-766	営業活動や投資活動の維持のために調達または返済された資金を示します。	
法人税の支払額	0	Ⅳ 現金及び現金同等物の増加額	
その他営業活動による増減額	0		-9,849
営業キャッシュフロー	-20,112	Ⅴ 現金及び現金同等期首残高	
主たる営業活動により獲得した資金を示します。			255,492
Ⅵ 現金及び現金同等期末残高			245,644

経営安全率は、前期の	11.6%	から、当期は、	27.8%	となりました。
損益分岐点は、前期の	246,352千円	から、当期は、	239,126千円	となりました。
当期利益実績は、前期実績を	42,563千円	上回っています。		

この要因として、以下の項目が挙げられます。

①売上高は	331,001千円	で、前期より	52,433千円	増加しています。
②限界利益は	225,673千円	で、前期より	52,170千円	増加しています。
限界利益率は	68.2%	で、前期より	0.6ポイント	上昇しています。
③固定費は	163,084千円	で、前期より	9,607千円	増加しています

※固定費は、人件費＋その他固定費－営業外損益

このままで推移すると、当期利益は

191,447千円

になります。（※）

前年比では、

130,192千円

の

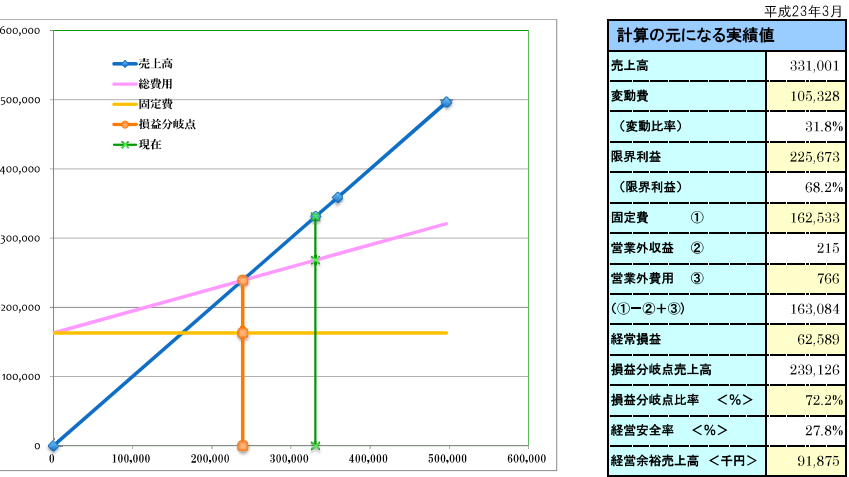
増益

になります。

このまま推移しても

前期利益を上回ります。

※当期見通しは、当月までの前年対比（％）に前期年間実績を乗じて計算しています。



■ 目標利益獲得に必要な売上高算出方法

目標利益を得るために必要となる売上高は、固定費と目標利益を加算した額を限界利益率で除すことによって求められます。

必要売上高

=

固定費+目標利益

限界利益率

※固定費＝人件費＋その他固定費-営業外損益

損益分岐点売上

239,126

千円

費 目	金 額(千円)	対売上比(%)
売 上	331,001	100.0%
変 動 費	105,328	31.8%
限 界 利 益	225,673	68.2%
人 件 費	78,397	23.7%
そ の 他 固 定 費	84,136	25.4%
営 業 外 収 益	215	0.1%
営 業 外 費 用	766	0.2%
経 常 利 益	62,589	18.9%

汐留商事

平成23年3月

■目標利益獲得のための必要売上シミュレーション

① 利 益 150,000 千円を獲得する為の必要売上

	固定費	必要売上高	必要増収額
固定費(現状のまま推移)	319,825	689,107	358,106
固定費 5%アップ	335,816	712,562	381,561
固定費10%アップ	351,808	736,016	405,016
固定費 5%ダウン	303,834	665,652	334,651
固定費10%ダウン	287,843	642,197	311,196

※固定費(現状のまま推移)は、前年の年間実績に、当月までの前年対比を乗じて当期の固定費推計を計算しています。

② 利 益 180,000 千円を獲得する為の必要売上

	固定費	必要売上高	必要増収額
固定費(現状のまま推移)	319,825	733,109	402,108
固定費 5%アップ	335,816	756,564	425,563
固定費10%アップ	351,808	780,018	449,017
固定費 5%ダウン	303,834	709,654	378,653
固定費10%ダウン	287,843	686,199	355,198

13

03

経営比率分析（1）総括

BizUP

発展会計 月次レポート

提供 日本ビズアップ様

収益性分析	生産性分析	安全性分析
①総資本経常利益率は 27.3%	①限界利益率は 69.2%	①流動比率は 465.6%
②売上総利益率は 68.2%	②一人当たり売上高は 22,618千円	②当座比率は 465.4%
③売上高営業利益率は 27.3%	③1人当たり限界利益は 15,646千円	③固定比率は 23.1%
④売上高経常利益率は 28.2%	④1人当たり人件費は 4,892千円	④固定長期適合率は 23.1%
⑤総資本回転率は 1.0回	⑤労働分配率は 31.3%	⑤自己資本比率は 71.2%

汐留商事

14

03

経営比率分析（2）収益性分析

BizUP

発展会計 月次レポート

提供 日本ビズアップ様

収益性分析

収益性は企業が調達し、経営に投下した資本の運用効率を示す総資本経常利益率によって総合的に評価される。またそれは売上高経常利益率（売上にに対する営業活動によって得た利益の割合）と総資本回転率（経営に投下された資本を売上高によって回収した速度を示すもの）に分解される。

平成23年3月

業界平均値との比較

経営指標	当期予測	業界平均	ランク
総資本経常利益率	27.3%	1.88%	A
売上総利益率	68.2%	29.30%	A
売上高営業利益率	27.3%	0.69%	A
売上高経常利益率	28.2%	1.09%	A
総資本回転率	0.97回	1.72回	A

ランク： A=優良 B=普通 C=低い

※当期予測は、当月までの累計額の前年対比を前期年間実績に乘じて算出しています。
※売上総利益率は、当月までの累計額を経過月数で除した平均値で算出しています。

汐留商事

15

03

経営比率分析（3）生産性分析

BizUP

発展会計 月次レポート

提供 日本ビズアップ様

生産性分析

売上高の投入高に対する割合をい、企業の経営分析の中で、収益性分析を補足するものである。その特色は、収益性分析においては投入高を「資本」としているのに対して、生産性分析ではこれを「人」または「もの」としている点がある。生産性が向上すれば人件費や諸経費の増加を吸収することが出来る。

平成23年3月

業界平均値との比較

経営指標	当期予測	業界平均	ランク
限界利益率	69.2%	33.75%	A
1人当たり売上高	22,618千円	20,490千円	A
1人当たり限界利益	15,646千円	6,920千円	A
1人当たり人件費	4,892千円	2,930千円	A
労働分配率	31.3%	42.4%	A

ランク： A=優良 B=普通 C=低い

汐留商事

生産性をみるために確認する指標

分析指標	算 式	利用目的
限界利益率	$\frac{\text{限界利益}}{\text{売上高}}$	売上高に対する原価効率をみる
1人当たり売上高	$\frac{\text{売上高}}{\text{社員数}}$	社員 1 人当たりの生産性をみる
1人当たり限界利益	$\frac{\text{限界利益}}{\text{社員数}}$	社員 1 人当たりの生産効率をみる
1人当たり人件費	$\frac{\text{人件費}}{\text{社員数}}$	社員 1 人当たりの人件費水準をみる
労働分配率	$\frac{\text{人件費}}{\text{限界利益}}$	社員の生産効率に対する人件費のバランスをみる

※業界平均は、経営改善ナビ「業種別経営指標」をご参照ください。
（経営改善ナビは発展会計よりお入りいただけます）

16

安全性分析

バランスのとれた安定した経営が行われているかどうか、企業を取り巻く経営環境が変化しても耐える力がどの位あるかをみる。
企業の財政状態の良否、支払能力の程度を見ているもの。

平成23年3月

業界平均値との比較

経営指標	当期累計	業界平均	ランク
流動比率	465.6%	141.37%	A
当座比率	465.4%	87.27%	A
固定比率	23.1%	155.78%	A
固定長期適合率	23.1%	74.81%	A
自己資本比率	71.2%	30.1%	A

ランク： A=優良 B=普通 C=低い

生産性をみるために確認する指標

分析指標	算 式	利用目的
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	短期負債の支払をカバーできる運転資金状態をみる
当座比率	$\frac{\text{当座資産}}{\text{流動負債}}$	短期的な負債に対する直接支払能力をみる
固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資本}}$	自己資本に対する固定資産の割合状況をみる
固定長期適合率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資本} + \text{固定負債}}$	固定資産に対する調達源泉が適正かみる
自己資本比率	$\frac{\text{自己資本}}{\text{総資本}}$	投下資本に対する自己資本の割合をみる

※業界平均は、経営改善ナビ「業種別経営指標」をご参照ください。
(経営改善ナビは発展会計よりお入りいただけます)